

浸水想定区域図とは

・ 浸水想定区域図の目的

浸水想定区域図は、次の目的で地域の住民のみなさまに公表します。

- ・ 危険性を知る：水害で、地域がどの程度の浸水被害の可能性があるか知っていただく。
- ・ 避難に役立てる：水害への関心を高め、水害の恐れがある時や水害時の避難に役立てる。
- ・ 生活の工夫：水害に強い生活への工夫に役立てる。

・ 浸水想定区域図とは

浸水想定区域図とは、大雨により河川の水位が上昇し、堤防が決壊するなどはん濫が発生した場合にどのようにはん濫し浸水するかをシミュレーションして、想定される浸水の範囲と水深を明示した図面です。

シミュレーションは、主に以下の条件により計算しています。

- ・ 当該河川の整備計画の基本となる降雨を対象にする。
- ・ 堤防を決壊させる地点を選定しはん濫させる。
- ・ 複数の箇所で堤防が決壊したシミュレーションをそれぞれについて行い、その結果を重ね合わせて最大の範囲、最大的水深を示す。
- ・ 支川のはん濫や内水はん濫は考慮しない。

・ 浸水想定区域図の利用にあたっての注意事項

- ・ 地盤の高さは50m(もしくは250m)四方のメッシュ内の平均値を使用していますので、実際の地形を正確には表現できていません。微地形による影響が表現しきれていない場合があります。
- ・ 浸水想定区域図は、作成時点の対象河川の整備状況等を考慮し、対象河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を氾濫計算により求めたものです。
- ・ 浸水想定区域図は、複数の箇所で堤防が壊れたり、水が溢れたりしたときの氾濫区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の区域と水深を示しています。実際は、それらのうちの限られた箇所が氾濫し、その箇所から浸水区域が広がり、徐々に深くなります。
- ・ 氾濫計算にあたっては、支川や内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際的水深と異なる場合があります。